

工事請負契約における総合評価方式について

総合評価方式とは、価格だけで決定していた従来の落札方式から、価格と合わせて品質を高めるための新しい技術やノウハウ、また地域・社会貢献度などの価格以外の要素を含めて評価する方式です。さらに工事契約案件の類型として、規模が小さな工事である「特別簡易型」と、入札に参加する者が作成した施工計画をもって評価する「簡易型」に分けられます。

私は先ず、区内事業者の育成と区経済の発展に資することを目的にした区内業者に限定した総合評価方式制限付一般競争入札の継続と上限額の拡大について質問しましたが、区の答えは検討するというものでした。

また、翌年度の工事発注は前年度の年度末にほとんど決定されていることを取り上げ、年度途中で簡易型、特別簡易型に該当工事が必要となった場合の手続きを尋ねたところ、その都度、検討するとのことでした。

待機児童解消に向けた定員の確保について



区は待機児童ゼロを目指し今年度、補正予算を組み、緊急的な対応策として認可保育所と小規模保育事業者募集を開始しましたが、保育需要に施設の整備が追いついていないのが現状です。

私は質疑の中で、①定員の拡大を図るとともに、保育の質を担保することも重要だ②保育園開設に当たっては近隣住民へ丁寧な説明を行い理解を得ることが必要だ ③新たな保育園等の整備を加速させるには、旧宮園土木詰所以外にも区の施設や区有地等を活用すべきだ ④来年4月

1日の新園開設が難しいなら、27年度の年度途中の開設に向け、努力を継続すべきだ——等、述べました。

これに対し区長は今後も待機児童ゼロを目指して取り組んでいくと答えました。

尚、質問の詳細に関しては私のWEBサイトをご覧ください。

佐野れいじオフィシャルWEBサイト
<http://www.sanoreiji.jp/>



活動の様子

